

ご存知ですか？

『ローリングストック』

ローリングストックとは、消費しながら備蓄すること

ウォーターネットをご利用中のお客様の中にも、日頃お使いの宅配水とは別にペットボトルの水を購入して「備蓄水」として防災グッズや非常食と一緒に保管しているお客様がいるかも知れません。しかし普段利用いただいている宅配水を備蓄水として取り込むという考え方があります。

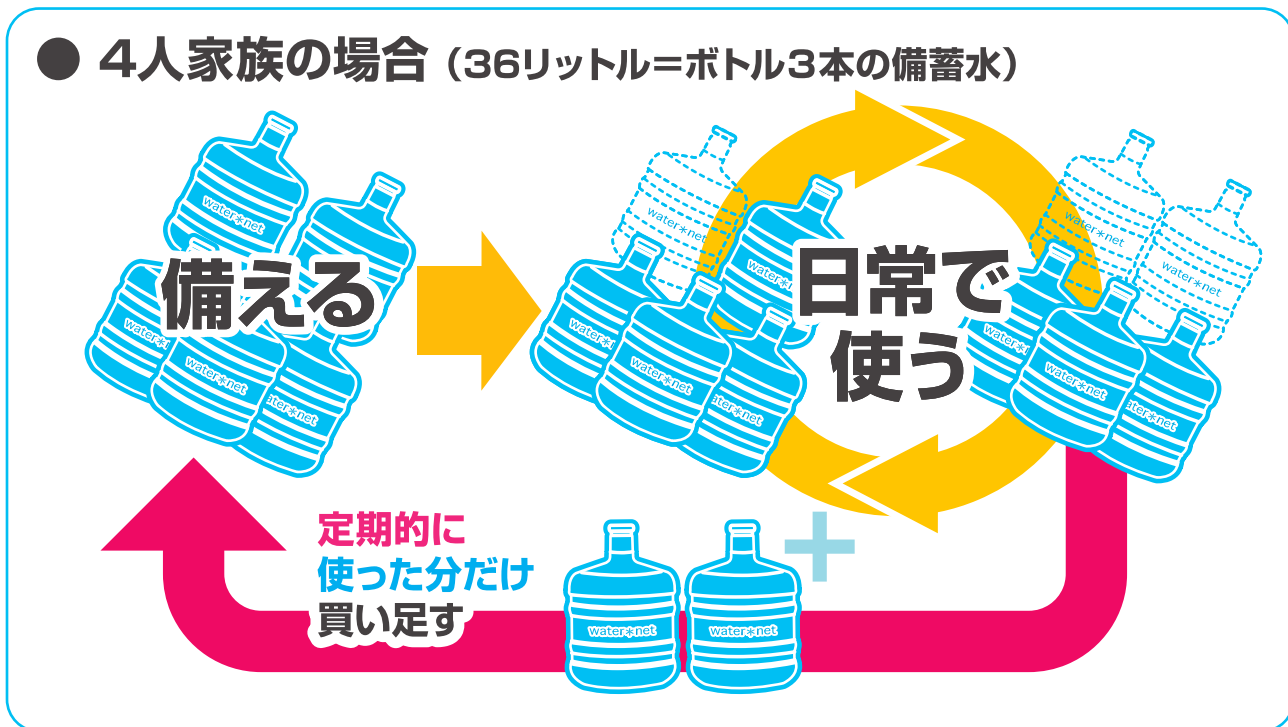
普段から少し多めに宅配水を購入しておき、日常生活で賞味期限までの期間が短いものから消費していきます。ご自身で設定した在庫本数になったら、改めて使用した本数だけ買い足していくことで、常に災害時に必要な量のお水を家に備蓄することができます。このように一定量を確保しながら消費と購入を繰り返すことで備蓄水の鮮度を保ち、いざという時に備える方法がローリングストック法です。

1日1人3ℓ×3日分

地震災害で水の供給が止まった時に備えて、備蓄しておいたほうがよいとされる飲料水の量は1日1人3ℓ×3日分といわれています。例えば家族4人分なら36ℓ。ウォーターネットの宅配水ならボトル3本分です。

※ 水道設備の破壊や停電で給水不能となった場合、水の配給や給水車の出勤に3日ほどが必要となるため

● 4人家族の場合（36リットル＝ボトル3本の備蓄水）



食料も消費しながら備える

ローリングストック法なら、賞味期限が1年程度のレトルト食品やフリーズドライ食品、缶詰なども災害時の備えとして採用できます。味も一般的に「非常食」とよばれている食品よりも美味しく召し上がられるはずですよ。

1～2週間に1度、普段の食事に1品追加することでローリングストック法が実践できます。



water*net クーバープロジェクト

災害時に備えて、ウォーターネットはボトルドウォーターの「ローリングストック」を推進しています